

第1回多度地区小中一貫校地域協議会 会議概要

開催日時 令和2年6月27日(土) 10:00~11:45

開催場所 多度まちづくり拠点施設 講堂

出席委員 22名中 20名

1. 開会 桑名市長あいさつ

2. 委員紹介

3. 事務局紹介

4. 本事業の進捗状況と本協議会の目的について

委員 : 以前、基本構想が案として示されたが、基本構想は最終確定しているのか。

事務局 : 現時点で確定していないが中身について大きな変更は予定していないため、基本構想案をベースにご議論いただきたい。

5. 議事

(1) 現状の共通認識について

委員 : 児童生徒数の減少を示すと、小学校の統合だけ早くしてほしいという意見になりやすいのではないか。

事務局 : 児童生徒数は、今後一貫校を計画していく上での基本的となる情報であるため、事実として提示した。

委員 : 小中一貫校の良さについて考え、計画していくことが大切な視点だと思う。

委員 : 特別な支援が必要な児童生徒への視点が十分である計画としたい。また、不登校の子どもなど、個別に対応できる小さな部屋を十分用意することも大切。

委員 : 小中一貫校では、小学生と中学生が同じ敷地で生活することで、中1ギャップが緩和されることが期待できる。

委員 : 地域住民が学校に足を運びやすい学校づくりという視点を大切にしたい。

(2) 令和2年度の検討予定について

委員 : 基本計画の骨子が示されていないため、本協議会で何を協議すればよいのかという見通しが持てない。

事務局 : 基本計画に記載する予定の、施設整備方針や施設基本計画についてまとめていただきたいと思います。

委員長 : 今年度の目標がもう少し具体的にイメージできると議論しやすいと思うので、事務局で検討願いたい。

6. その他

委員 : 用地取得がうまくいかなかった場合、高層化した校舎など狭い学校となるのではないか。

事務局 : 窮屈な学校とならないように、必要な面積の取得に向けて進めていきたい。

7. 閉会